

「花の種銀行」便り

第 28 号

H26. 8. 1



花の種を利用した作品を会員の方からご提供いただきました。

『苦難が去る 九猿の南天』

「風船かずら」の種が、お猿さんの顔に使われていて、とてもかわいらしいです。
花の種銀行窓口に展示していますので、ご来店の際に御覧ください。

第 8 回「上田市花と緑のまちづくりコンクール」を開催します

花づくりを通じて、美しく潤いのある快適なまちづくり、地域づくりを進めるため、今年も「上田市花と緑のまちづくりコンクール」を開催します。

自薦、他薦は問いませんので、花づくりをされている皆さまのご応募（特に個人部門）をお待ちしています。

<対 象>

団体部門...自治会・育成会などの団体が管理する道路沿いの花壇、プランター等

個人部門...個人が管理する庭や玄関アプローチ、壁面など

学校部門...学校や緑化委員会などが管理する花壇、プランター等

応募期間内～審査時まで咲いている花が対象です。

<応募方法>

公園緑地課または丸子・真田・武石の各地域自治センター建設課にある応募用紙に必要事項を記入し、写真を添えて応募してください。

<応募期間>

平成 26 年 7 月 16 日（水）から 8 月 13 日（水）まで

詳しくは上田市役所公園緑地課までお問い合わせください。（電話：0268-23-5134）



パンジー・ビオラを種から育ててみましょう

これまで行われてきた「種から育てる花づくり講習会」(パンジー・ビオラ編)の中から、パンジー・ビオラの育て方のポイントをご紹介します。秋の種まきの参考にしてみてください。

～ 種まき ～

プランターなどに「プランターの土」または「培養土」を入れ、(種をまいた時に流れて偏らないように)平らにならず。ジョウロで水をくれ、下までしっかり湿らせる。

1 cmに1粒が落ちるぐらいにまき、上に1 cmほど土をかける。(覆土はパーミキュライト(細かいもの)がお勧め)発芽する(10日前後)までは土の表面が常に湿っている状態にし、絶対に水を絶やさず。高温時は発芽及び生育が悪くなるため、置き場所等に注意する。(発芽適温 20℃、生育適温 25℃以下)

～ ポット上げ ～

葉が4枚(双葉と本葉)になったらポット上げる。

プランターから苗を取り出す時は、苗をひっぱり上げるのではなく、プランター強く揺するなどして土ごと取り出すが、この時根を切らないよう注意する。

～ 植え付け ～

ポットの底の穴から根が見えたら、地面やプランターに植え付ける。(ポット上げから約1ヶ月後)

地面の場合は堆肥か化成肥料を、プランターの場合は赤玉土6：腐葉土4に緩効性肥料を混ぜて植える。

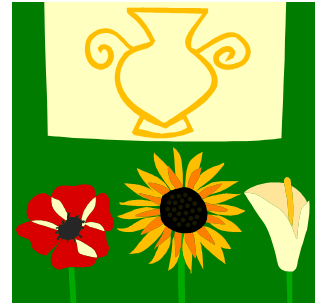
多肥料を嫌うので肥料は少な目にする(植え付け時は肥料を入れず、春になって生育状況を見ながら、施肥する)

苗の時期はよく日の当たる場所へ置きますが、強い雨に直接当たらないよう注意しましょう。また、根腐れしないように水はけのよい土を使い、3月以降、徐々に水やりを増やしていきます。

パンジー・ビオラは寒さに強いので、外でじっくり冬越しさせて、春に丈夫できれいな花を咲かせましょう。

パンジーよりビオラのほうが、より寒さに強く育てやすいと言われています。

より詳しくパンジー・ビオラの育て方を知りたい方は、ぜひ、9月3日に開催される講習会にご参加ください。(4ページ参照)



驚きの除草法? ～「ヒゲおやじの気まま流野菜づくり日記」より～

草に限らず種ってのはその種に合った温度、湿度、日照、酸素、養分、圧力(土の深さ)なんかの条件が揃ったときに初めて発芽するんだそうだ。条件が揃わなければ何年でも土の中に眠っているんだって。

(略)

雨が降ると種は水分を感知してそろそろかな?でもそれだけでは発芽しないんだそうだ。雨で土が流れて適度な圧力になったり、種が膨らむための適度な温度になったり、さらには太陽光を感じることで発芽のスイッチが入るんだそうだ。これで発芽の条件が整ったというわけだね。

さあ、発芽するぞ。

種からはまず直根という真っ直ぐな根が出るんだ。それが水分を吸収して成長すると、根が伸びて種を持ち上げて双葉を開く。そこで陽光を受けて光合成ができる状態になると急激に成長するんだ。

(略)

それはこういうことだそうだ。雨の後の天気の良い日に、軽く土をかき回してやればよいのだそうだ。

発芽しようとしている種は最適な条件を壊されるし、根が出ているものは根を切られたり浮かされたりして、発芽しなかったものもそれ以上成長できなくなって枯れてしまうということなんだ。

なので雨後の晴天の日に、力を入れずに土の表面を2、3回擦るようにしてかき回せばよい。ということだ。これが沖田流の除草法。「生える前に除草せよ」ということなんだって。

中学の時の担任に「上農は草を見ずして草を取り、中農は草を見て草を取り、下農は草を見ても草を取らず」とわれたことを思い出しました。

皆さんのお庭では、どんな方法でやられていますかね?

「種から育てる花づくり講習会」を開催

元上田市農業バイオセンター所長の武田正男先生を講師にお迎えし、3月19日に市民会館にて花づくりの基本について、5月9日に上田城跡公園にて実際の種まきの仕方についての講習会を開催しました。

「花を育て隊」夏苗の植え付けをしました

今年も花壇に夏苗の植え付け作業を行いました。

6月16日(月)に常田新橋周辺に1,600本、6月17日(火)に上田駅周辺に1,600本、6月19日(木)に上田城跡公園に3,100本、計6,300本を「花を育て隊」の皆さまに植え付けしていただきました。

現在、色とりどりの花々が、夏の花壇を華やかに彩っています。

植え付けに参加してくださった皆さま、暑い中ありがとうございました。



17、18日には聖マリア幼稚園の園児も参加してくれました。



常田新橋花壇の様子です。

次回は10月中旬にビオラのポット上げを、11月中旬に花壇への植え付けを予定しております

「花いっぱい功労者表彰」

6月27日(金)松本市のMウイングにて花いっぱい功労者表彰式が行われ、上田市からは「和子(わご)自治会ふれあいの会」と「上田市立北小学校」が表彰されました。



和子自治会ふれあいの会
(推薦理由)

平成24年度「花と緑のまちづくりコンクール」にて最優秀賞



上田市立北小学校

(推薦理由)

平成25年度「道路功労者表彰」

(公益社団法人 日本道路協会：道路の愛護・美化保全に寄与)

受賞された団体のみなさん、おめでとうございます。

・秋まきの種、用意しました！

花の種銀行では、これから種まきをし、春に花が咲く種類をご用意し、皆さまをお待ちしています。

アグロステンマ、イソトマ、かすみ草、金魚草、金せん花、シネリア、シノグロッサム、宿根ネメシア、スイートピー、ネモフィラ、ノースポール、花菱草、葉ボタン、パンジー、ビオラ、ポピー、モイワナズナ、ルピナス、ロベリア、ワスレナグサ など

- ・寒冷地で、霜よけ・保温が難しい場合は、春に種まきしたほうがよいものもあります。
- ・発芽適温が 15～20 のものがほとんどですので、早まきしすぎないように注意してください。

・「種から育てる花づくり講習会」(パンジー・ビオラ編)を開催します

日 時・・・9月3日(水) 午前9時30分～2時間程度(受付9時～)

場 所・・・国分寺史跡公園(国分寺資料館西側のフジ棚前広場)

講 師・・・武田正男さん(元上田市農業バイオセンター所長)

申込み・・・9月2日(火)までに電話で公園緑地課へ

内 容・・・上田の気候、土や肥料など花づくりの基本、秋の種まきのポイント【講義】
種まき・夏～秋の草花の管理など【実習】

持ち物・・・実際に種まきをしていただきますので、次のものを御持参ください

- ・土(市販の「プランターの土」など)
- ・種をまく容器(プランター・鉢など・・・深さが7～10cmあれば十分です)
- ・種(お好きな種を持参するか、事前に「花の種銀行」を御利用ください)
- ・筆記用具

屋外での講習になりますので、帽子など暑さ対策をお願いします。

花の紹介「ケイトウ」



5月の講習会のあとに種まきしました。
羽毛咲きタイプの赤で、草丈は30cm程度まで伸びる種類です。
夏の暑さにも強く、花壇やプランター・鉢植えにも向いています。
30本くらい苗ができたので、自宅で使った残りは、市役所前の花壇に植えました。(M)

